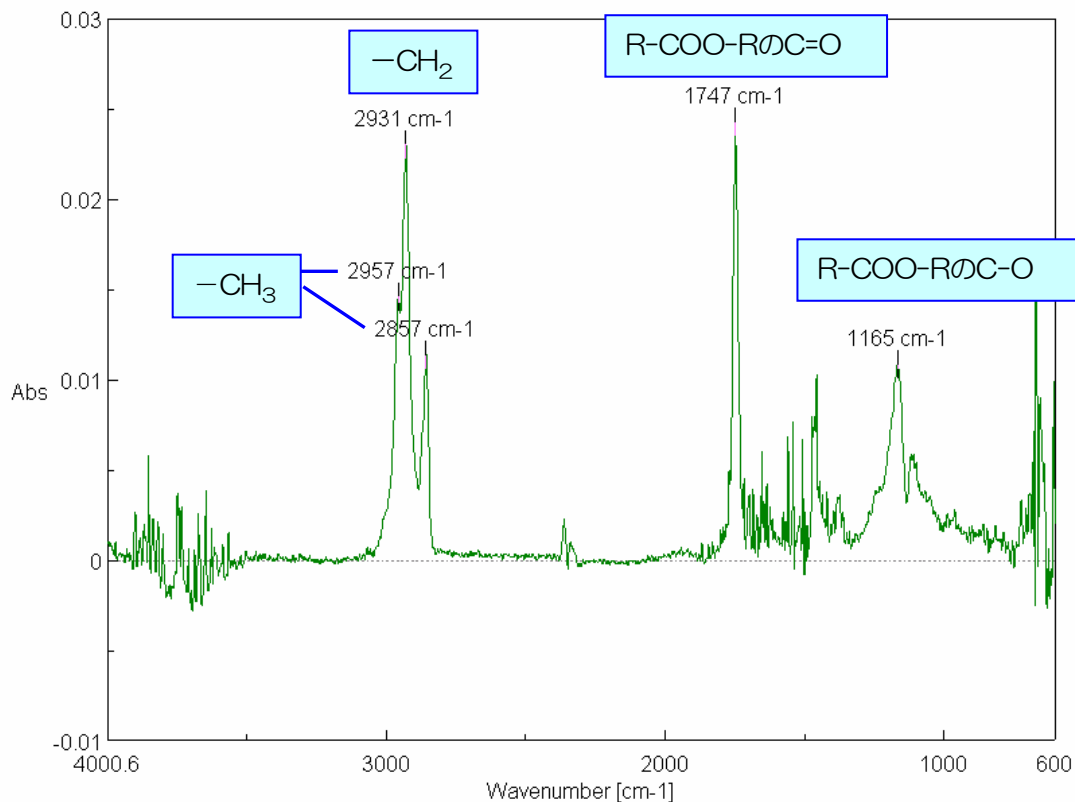
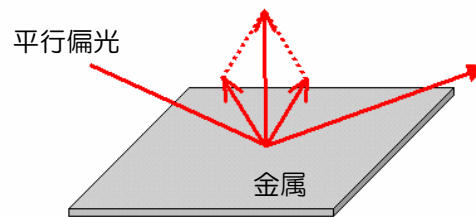


FT-IR (6200FV) 分析事例④

～金属表面分析～

目的： 金属表面付着物同定

(RAS法) 平行偏光の赤外光をある角度で入射すると、分子と電場の相互作用で、スペクトル強度が増す。金属表面などの厚さが数十Å～数千Åの膜の測定などで有効。



結果： 正反射測定では測定できない、極微量のエステル系オイルが表面に付着していることがわかった。